



イメージキャラクター
「ベエズ」

みなとしみず

発行

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所
御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港分室
静岡市清水区日の出町7番2号
TEL. 0543-52-4146
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

伊豆地域のみなとを考える市町長懇談会

7月2日(土)に「伊豆地域のみなとを考える市町長懇談会」を沼津市で開催しました。

この懇談会は、中部地方整備局と静岡県内の港湾が所在する自治体において、港を活かしたまちづくりや地域振興などについて意見交換を行い、今後の港湾整備に反映させる目的で開催しています。



今年度は、伊豆地域の熱海市(熱海港)・伊東市(伊東港)・下田市(下田港)・南伊豆町(手石港)・松崎町(松崎港)・西伊豆町(宇久須港)・伊豆市(土肥港)・沼津市(沼津港)の5市3町の市町長に出席していただき、当局として国土交通省・鬼頭港湾局長、中部地方整備局長、副局長、港湾空港部長、静岡県・土木部長、港湾総室長他が参加しました。

懇談会内では、各港の現状説明や港を取り巻く諸課題及び意見要望が各市町から出され、それに対し中部地方整備局・藤田港湾空港部長と、静岡県・大津港湾総室長より対応策についてコメントがあり、最後に鬼頭港湾局長が「首長の生の声を聞く機会が持てたことは有意義だった。いろいろな制約があるが工夫を凝らしながら検討していきたい。」とまとめ閉会しました。

「海の日」の記念式典

7月20日(水)に清水日の出センターにおいて、『海の日』記念式典が開催されました。

式典の中で海事関係功労者表彰、海の図画コンクール表彰が行われ、総

勢約100名の方が受賞されました。

中部地方整備局では、局長表彰に2名・1団体、事務所長感謝状に3団体が対象となり、当事務所 佐藤所長から表彰状、感謝状及び副賞が授与されました。



【中部地方整備局長表彰】

◆ 港湾事業功労表彰

田子の浦港利用促進協議会 会長 石井 利平 氏

◆ 永年勤続表彰

株式会社 土佐谷組 土佐谷 和貴 氏

◆ 海をきれいにするための一般協力表彰

大井川港防災振興会

【清水港湾事務所長感謝状】

◆ 港湾建設功労表彰

ヤマワ建設株式会社

堀池鉄筋株式会社

株式会社 新村組

ロシア船『ルーシー』清水港に寄港

今年は日露修好条約150周年です。その記念事業として7月2日(土)にロシア船「ルーシー」が清水港日の出埠頭に寄港し、清水港客船誘致委員会による歓迎式典が行われ式典終了後、約150人の交流団はTSL防災船「希望」に乗り換え下田港に向かいました。7月4日(月)には船内が公開され、ラウンジや食堂、操舵室など快適な空間を多くの方が見学しました。

ロシア船「ルーシー」(12,798トン)は通常、伏木富山港とウラジオストック港を結ぶ国際フェリーとして運航しており、今回の行程はウラジオストック(6/24)→函館(6/29)→清水(7/2)→下田(TSLにて)→清水(7/5)→ウラジオストック(7/8)に帰航しました。



清水港に北米・中東航路新設



7月から清水港に外貿コンテナ船の北米・中東航路が新設され、1日(金)夜に清水港袖師第一埠頭に第1船が初入港しました。中東への直行航路は国内唯一であり、港湾利用者の拡大が期待されます。新設航路は東南アジア航路を北米・中東航路に改編したもので、航路は、清水→博多→釜山(韓国)→光陽(韓国)→上海(中国)→寧波(中国)→タンジュンペラパス(マレーシア)→ジュバルアリ(UAE)→サラーラ(オマーン)→タコマ(米)→バンクーバー(カナダ)→ダッチハーバー(米)→横浜→清水を回ります。

日本の港湾政策と清水港をテーマに事務所長講演

8月12日(金)静岡市清水区内のホテルで、「日本の港湾政策と清水港」をテーマに事務所長が講演しました。これは“清水平成政経塾”主催の講演会で毎月1回行政人、経済人、大学講師等を招き行っているものです。

講演会では全国のみななどを紹介し、最近の港湾政策トピックス、清水港の歴史など、1時間程度講演し、元気なみななどである事を訴えました。聴講者も熱心にメモを取るなど有意義な講演会になりました。



マリンフェスタ下田



真夏の暑い日差しの中7月16日(土)～17日(日)にマリンフェスタ下田2005が開催されました。

当事務所ではPRブースを出展し、来場者に対し防波堤整備事業の概要や防波堤の構造のパネル展示をするとともに、下田港防波堤は津波防止効果からも整備が期待されていることを紹介し、PR活動を行いました。PRブースに訪れた方に対し下田港に関するアンケートを実施したところ、たくさんの方々から協力をいただき、展示内容や下田港についての意見をいただきました。

マダイ体験放流

7月28日(木)に御前崎市内の小学五年生53名が「大きく育てね」と願いをこめて御前崎港沖にてマダイの稚魚2,000匹の放流体験をしました。

海に親しみながら栽培漁業の推進や後継者育成につなげようとするのが目的で、御前崎市が毎年主催しているものです。当事務所からは「御前崎港を知ってもらいたい良い機会」と市からの要請を受け、監督測量船「ふじ」が協力しました。放流地点までの船内では、船窓から見える港湾施設や停泊している船舶に「みなとによく遊びに来るよ!」「初めて船に乗った!」などいろいろな歓喜が飛び交いました。



第58回清水みなと祭り

8月5日(金)～7日(日)に清水港周辺において、清水地区最大の夏の祭典『第58回清水みなと祭り』が開催されました。2夜にわたり1万人が練り踊る「港かつぼれ」総踊りに当事務所も3年連続で参加し、今年は当事務所のイメージキャラクター「ベェズ」もかつぼれに挑戦しました。

8月7日(日)には清水港で、約1万発の花火が鮮やかに夏の夜空を彩り、最終日を飾りました。



『県民の日』に日の出岸壁を開放

8月21日(日)に「県民の日」が行われ、清水港では普段保安対策により立ち入れない日の出岸壁を開放しました。



当日は清水港管理局と合同ブースを出展し、新興津を紹介するパネルや模型、清水港に輸入されるボーキサイト等のサンプルを展示。岸壁コーナーでは、ライフジャケットを着た釣り人がアジやクロダイなどを釣り上げていました。



市民ふれあいイベント

9月4日(日)に静岡県建設業協会青年部主催の“市民ふれあいイベント”が建設行政のPRや建設事業に対するイメージアップを目的として、葵区の青葉イベント広場で開催されました。

会場では高所作業車の試乗や建設機械の写生大会、起震車体験のほか、当事務所もPRブースを出展し、清水港を紹介するビデオの放映やパネルの展示、清水港に関するクイズ&アンケートなどを実施して港湾事業のPRを行い、たくさんの来場者で賑わいました。



みなとづくり見学会

“みなとづくり見学会”とは、地域コミュニケーション（広報広聴）活動の一環として、港に関する講座や港内を見学してもらい、地域の皆さんに広く、『みなと』の果たす役割を理解してもらうために行っているものです。



見学会の様子



《6～9月に実施したみなとづくり見学会》

実施日	団体名
6月28日	静岡県立北養護学校中学2年生
7月7日	下田市立浜崎小学校5年生
7月13日	長野県立王滝中学校1年生 御前崎市相良町学校組合立御前崎中学校1年生
7月19日	東海大学短期大学部1・2年生
7月25日	「海の月間」清水港みなとづくり見学会
7月28日	御前崎市立白羽小学校5年生 御前崎市立第一小学校5年生 御前崎市立北小学校5年生
8月10日	佐倉まちづくりの会
8月18日	御前崎・白羽地区町内会長
8月19日	御前崎小・中学校新規採用教員
8月19日	親子現場見学会
8月23日	みなとまるごと博物館 SHIMIZUの会
8月24日	フェルクラブ
8月24日	親子現場見学会
8月30日	富士市役所 技術系職員

黒字：清水港 / 青字：下田港 / 緑字：御前崎港

事務所管内の主な動き

7/1	田子の浦港分室開設	7/29	御前崎港振興会総会
7/11	田子の浦港まちづくり推進検討会	9/5	静岡市市議会議員 清水港港内視察
7/14	駿河湾フェリー新造船「富士」披露式典	9/7	静岡県市長会 御前崎港港内視察
7/20	海の日記念式典	9/16	大井川港地方港湾審議会幹事会



今回は震災時に役立つものベスト3を紹介するよ！！

- ① 懐中電灯
- ② 食料品
- ③ ラップ

これは阪神大震災の被災者へのアンケートが元になっているんだ。
ラップはケガをした時の包帯や三角巾代わりになるし、お皿に敷いて使えば水を使って洗う必要がないんだよ！！ みんなも参考にしなね！！

海とみなとの相談窓口



☎ 全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間：9時～12時、13時～17時(土・日、祝祭日は除く)

- ・海やみなとの利用に関する
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください